

# ほのかぜ 南風

編集・発行

上甌中学校 P T A 研修部

所在地・連絡先

薩摩川内市上甌町中甌 191 番地 1

0 9 9 6 9 - 2 - 0 0 1 4

## 保護者・職員が一丸となって

健康被害に陥らないために

7月7日、下甌支所に  
て、薩摩川内市家庭教育  
学級西ブロック講演会が  
行われました。

当日は、「特定非営利活  
動法人ネットポリス鹿児  
島」理事長 戸高成人氏による、「情報モラル教室」  
依存と健康被害」をテーマに、ネット依存による健  
康被害について講話を聞いてきました。



今現在、子供たちが手にして使用しているゲーム  
機やスマートフォン。そして、日常的に見ているテ  
レビから放射される「ブルーライト」が、子供たち  
の目や脳にどのような影響を及ぼすのかについて、  
具体的な例や画像などを用いて説明してくださいま  
した。

今、私たち親が知り、考えていかななくてはならな  
い貴重なお話を聞くことができ、参加者も質問した  
り、メモしたりしながら熱心に聞き入っていました。  
大人だけでなく、子供たちにも聞かせたい講話内  
容でした。

(P T A 研修部 中尾 竜男)



生徒も「情報モラル教室」  
(9月5日実施)で学習

和気あいあいと  
給食試食会

9月5日、給食試食会が  
行われました。

1年に1回、普段見るこ  
とのない給食の様子を観覧  
し、試食もできる機会に、  
上中最後の試食会というこ  
ともあり参加する保護者が  
多かったように思います。

子供たちのテキパキとし  
た準備に感心し、また、時  
間以内に食べきる姿に驚く様子も見られました。

毎回、子供たちの成長に合わせた食事を提供して  
くださる給食センターの方々に、保護者として感謝  
する時間でもありました。

(P T A 研修部長 中尾 真由美)



上中생가選ぶ「好きな給食メニュー」BEST 3

	1年生	2年生	3年生
👑	焼きプリンタルト	なかよし丼 (親子丼)	皿うどん
👑	きなこ揚げパン	パンネ	カレーライス
👑	ミルク	きなこ揚げパン	ツナそぼろ丼 or 鶏飯



### 親子で話し合い身に付けよう

9月5日、講師に(有)ダイロクノの岡山幸祐先生を迎え、「メディアアカウントロールをできる子供を育てるために、私たちができること・すべきこと」をテーマに、小中合同学校保健委員会が開催されました。

以前は、あると便利だと思っていたスマートフォンやタブレット、PCが、今では必需品となっています。毎日使用しているこれらは、便利な反面、使用方法によっては被害者にもなり、加害者にもなり得ることは皆さん御存知かと思えます。

講話では、起こりうる問題とその予防について教わりました。

**インターネットに潜む危険！**

- ①ネット依存
- ②いじめ
- ③なりすまし
- ④個人情報漏えい
- ⑤詐欺
- ⑥著作権 など

どれも身近に感じるものばかり…

**◎子供がトラブルに遭わないために**

- ①コミュニケーション  
(相手の気持ちを考え、守るべきルールを子供と話し合っ
- ②使用時間  
て決めたルールは定期的に見直しを
- ③お金
- ④フィルタリング など

情報収集や情報交換などのために欠かすことのできないインターネットを今後にも上手に活用し、被害者にも加害者にもなることがないように、子供と話し合う、いいきっかけとなりました。

(PTA研修部員 湊 じゅん)



### 運動会準備の御協力に感謝

9月6日に中学校PTAで、26日に幼小中PTAで、合同運動会に向けて準備を行いました。運動会当日は雨天が予想され、一部の準備が当日に変更になりました。

テントや水重しの準備を行いました。たくさんの方に御協力いただき、スムーズに終わることができました。お忙しい中、皆様の御協力ありがとうございました。

(PTA事業部副部長 脇田 勇作)



令和元年9月6日 中学校PTA奉仕作業の様子



令和元年9月26日 幼小中PTA合同会場準備の様子



### 多くの方に支えられて 第9回幼小中合同大運動会

「どうかこのまま雨が強くなりませんように……。」 早朝から不安な思いで始まった運動会。この日のために、園児、児童、生徒、先生方、保護者が一丸となって準備を重ねてきました。

だれもが天気予報を気にする中、開会式が始まりました。3年生にとっては最後の、1・2年生にとっても上中生として最後の運動会。中学生だけではなく、幼稚園、小学校の皆の思いが届いたのでしよう。雲が晴れ、子供たちも最高の笑顔で全ての種目を終えることができました。この日を迎えるまで、先生方の努力は計り知れないものだったと思います。また、多くの助言をいただいた地域、OBの皆様。毎年、助六を提供してくださる、すし膳かのこ様。たくさんの方に支えていただき、保護者の一人として深謝の意を表したいと思えます。

来年度からは、幼小の運動会になります。子供たちが元気に楽しく、上甕が大いに盛りあがるよう、微力ながら協力したいと思えます。

最後に、上中のみんな、感動をありがとう。そして、お疲れ様でした。

(PTA事業部長 梶原 健太)





地区新人戦を終えて

【剣道部】



10月10日、地区新人戦剣道競技の部が、サンアリーナ川内武道場で開催されました。

2年生2人男女1名ずつの出場となりました。目標は、まず一本を取る。公式戦での一本、一勝ということの難しさを感じ悔しい思いをたくさんしてきた2人。そして、その一本、一勝のためにたくさん稽古を積んでいる姿を見せてもらいました。試合前の緊張感は、見ている親の方まで伝わってくるほどでした。「新人戦」ということで合同での団体戦にも出場することができ、貴重な体験をすることができました。

一人一人、試合数も結果も違いますが、それぞれ自分自身の全力を出して試合に臨んでいたように思いました。試合前の相手に向ける厳しい目、試合に負け涙を流す姿、勝利し自信に満ちた顔。様々な子供たちの成長を目の当たりにすることができた、すばらしい一日になりました。「自分に克つ。」子供たちにまた教わりました。ありがとう。

(剣道部育成会長

石原 知明)



【卓球部】



10月10日、11日の2日間、サンアリーナ川内において川薩地区新人戦が行われました。卓球部6名が出場し、素晴らしい戦いが繰り広げられました。

初日の団体戦は総当たりで、女子は4試合、男子は合同チームでの試合となりました。残念ながら、どちらも全敗という結果で終わりました。



2日目の個人戦は前日とは違い、朝から気合いが入っていました。まなみさんの好プレーから始まり、心乃さんの粘り強い戦いが続き、どちらも1回戦を突破しました。後に続けとがんばった絵恋さんと菜乃葉さんでしたが、惜しくも1回戦敗退となりました。

2回戦が初戦となった夢愛さんも粘り強い戦いで勝ち、3回戦へと進みました。龍之介さんは今大会で一番強い相手と初戦で当たり、健闘しましたが、1回戦敗退となりました。熱い戦いが続く中、女子1年生の部で心乃さんが8位入賞を果たしました。



今大会での様々な経験を糧に、今後も日々の練習に励んでほしいと思います。そして、次の大会では、さらなる活躍を期待しています。

(卓球部育成会保護者 中間 明子)

雨の中の激走！〜声援を力に〜



11月22日、雨降る悪天候ではありましたが、校内持久走大会が行われました。子供たちは、この日に向けてきつい練習を頑張ってきました。それぞれが掲げた目標タイムを目指し、走り出しました。雨に濡れながらの持久走だったので、地域の方々や保護者から心配する声も聞かれましたが、子供たちは雨にも負けず一生懸命走っていました。走り終えたあと、先生方にケアをしっかりといただき、体調を崩す生徒もおらず、無事一つの行事を終えることができました。



協力してくださった皆様、ありがとうございました。

(PTA研修部長

中尾 真由美)



# 卒業に寄せて



平成29年4月6日 入学式後 集合写真

## 保護者の思い

### すべてに感謝

上中の先生方、在校生の皆さん、3年間本当にお世話になりました。保護者の皆様にも大変お世話になりました。中学校生活3年間は笑いあり涙ありの毎日でした。正直、息子同様の私たちも「卒業」と思うと寂しい気持ちになり、それだけ内容の濃い3年間でした。

先生方には、いつも声をかけていただき気にかけてくださり大変感謝しております。聖也は思ったことをすぐ言葉に出してしまい、お友達や先生方は苦労したことと思います。それでも、仲良く遊んでくれたり、御指導していただいたり、本人も私たち親も成長させていただき、楽しい3年間でした。ありがとうございます。

最後に、岩下家は卒業しますが、何かお力になれることがあります。協力いたしますので、在校生の皆さんは来年度からもがんばってください。また、先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。そして、同級生の仲間、保護者の皆様、このメンバーで楽しかったです。ありがとうございます。



(卒業生保護者 岩下 佐枝子)

## 感謝の想いを胸に

少し大きめの制服に身を包み、上甕中学校の門をくぐった3年前の春。見返した写真の中の4人はびっくりする程に幼くかわいい笑顔でした。あつという間の3年間、心も体もおおきくたくましく成長して、いよいよ島立ちの時が来ました。

1年生の頃は、兄の背中を追いかけ、叱られながらも必死に頑張った部活動。任命された3年生での生徒会長も仲間達や後輩達の支えでやりきることができました。いつも笑顔で私たち家族を明るくしてくれる歩の存在は計り知れなく大きなもので、少しずつ訪れる島立ちに親としての淋しさは言葉にできないものです。

楽しいことも苦しいことも一緒に分け合ってきた日々は、島立ちしてからのそれぞれの心の支えになってくれると思います。甕島で生まれ育ったことを誇りに、胸を張って勇気をもってこれからの高校生活を楽しんでほしいと思います。感謝の想いを忘れずに。



(卒業生保護者 中尾 理香)



愛麗へ

卒業おめでとう！

あつという間の3年間でしたね。勉強に部活に生徒会活動：よく頑張ってきましたね。本当にお疲れ様でした。色々なことにチャレンジし努力した姿を見てきたので、胸に込み上げるものがあります。身も心も立派に成長してくれてありがとうございます。いつも温かく見守ってくださった先生方、励ましてくれた友達、思い出の詰まった校舎に感謝し、中学校で得た経験を大切にしてください。



春からはいよいよ高校生ですね。初めて愛麗が自分で決めた道です。平坦な道のりではなく、時には大きな壁にぶつかることもあると思いますが、受験という大きな壁を乗り越えた愛麗なら、きっと何があっても大丈夫です。自分の夢に向かって自分を信じ、新

しい道を歩んでください。素敵な助産師になれることを楽しみにしています。

これまで、そしてこれからも、充実した高校生活が送れるように応援しています。

(卒業生保護者 西 奈津美)

卒業おめでとう！感謝を込めて

新しい学校生活、制服を着ることへの憧れ。とにかく、上甕中学校への入学を楽しみにしていた3年前を思い出します。

自分の強い意志で、ピアノ、日本舞踊、硬筆習字の習い事を続けながら、部活動、生徒会活動など忙しい日々を乗り越えてきました。その中でも、卓球部の主将という貴重な体験もさせていただき、厳しい上下関係を経験しながらも、メンバーに合わせたチーム作り、雰囲気作りに心掛けて頑張っていた姿を見てきました。心も身体も成長できたと思います。3年前には全く思ってもいなかった休校を目前にして、この1年間、最後の行事を大事にやりこなし、親子共に一日一日を大切に過ごしてきました。香乃もいよいよ島立ちです。

たくさんの方々に見守られ支えていただいた、15年間。上甕で育った15年間

を宝物、心の支えとして、感謝の気持ちを忘れず、夢に向かって、香乃らしく充実した高校生活を過ごしてほしいです。

(卒業生保護者 濱邊 香)



入学から3年後…令和元年10月30日 下甕一日遠足～海星中にて隼人さん(中央)と一緒に～

一年間を振り返って



上甕中学校 P T A の皆様、  
1 年間の  
P T A 活  
動や学校  
事、子供た  
ちの見守り活動、地域行事の  
参加などありがとうございます

ました。子供たちが、この  
1 年間、学習や部活動等のびの  
びと充実した学校生活を過  
せたのは、会員の皆様の御理  
解・御協力のおかげです。

私事ですが、年末の大変なときに皆様に御迷惑・  
御心配をおかけしましてすみませんでした。

3 月末日に上甕中学校は休校になります。今後  
も皆様の協力なしではできな  
い行事がたくさんあります。

また、生徒は 4 月より里中  
学校へ通学することになります  
が、保護者の皆様にはまだま  
だ心配なことが多いと思いま  
す。私達保護者は、今後も、子  
供その子なりの成長を願い、こ  
れからも P T A 活動へ御協力  
くださいますよう、よろしくお  
願いいたします。

最後に、上甕中学校 P T A の皆様の益々の御多幸  
をお祈り申し上げます。

( P T A 会長 中間 義也 )



出合いに感謝!



「人間は一生のうちに会うべき  
人には必ず会える。一瞬早くもな  
く、遅くもなく。」これは教育者森  
信三さんの言葉です。

平成 29 年 4 月に上甕中学校第  
23 代校長として着任しました。3  
年間の学校経営と P T A 活動にお  
きまして、保護者の皆様より多大な御支援をいた  
だきました。心から感謝申し上げます。また、生徒数  
の減少に伴い常勤の職員は平成 29 年度と比べると  
4 名少なくなりました。

社会通念上、学校教育に求められることは学校規  
模に関係なくほぼ同じです。「学力を身に付けさせ  
る。」「道徳心を育む。」「心身ともに健康で、最後ま  
でやり通すことができる強い意志と体力を身に付け  
させる。」等、どの学校も同じです。また、甕島の特  
性である「ふるさとへの思いと中学卒業後の独り立  
ちの育成」を加え「知・徳・体・ふるさと・独り立ち」  
を意識した学校目標は過去の先輩校長とほぼ同じで  
あることも確認しております。願いは生徒一人一人  
の成長です。

この 3 年間の生徒の姿を振り返ると、「学力が伸び  
た生徒」「人との関わり方が大人になった生徒」「部  
活動で自己肯定感が高くなった生徒」など様々です。  
また、平成 29 年度からの 3 年間は、生徒が全員受賞  
という結果を残すことができました。諸コンクール  
への積極的な出品など、全て先生方思いであり生徒  
の努力の成果です。(感謝の気持ちでいっぱいです。)

最後になりますが、保護者の皆様におかれまして  
は、上甕中学校の休校問題に対する大きな決断や、

平成 30 年度の小中一貫教育研究公開時の大会スタ  
ッフ、校内持久走大会の監察や誘導係など、学校教  
育活動と P T A 活動を常に支えていただきました。  
とても心強い存在でした。おかげさまで、行事等を  
通して、生徒も職員も大きく成長できました。

令和 2 年 3 月末、上甕中学校は休校になります。  
森信三さんの言葉を引用するならば、職員と保護者  
の皆様は会うべき会った方であり、私にとり、  
かけがえのない仲間です。この貴重な出会いと数々  
の思い出を決して忘れず、次年度以降も本校生徒の  
成長を応援したいと思えます。3 年間、ありがとうございました。

(校長 鬼塚富貴子)



《編集後記》

上甕中学校休校前の 1 年間で、あつという間に過  
ぎていきました。皆様の御協力で、最後の上甕中  
校 P T A 新聞「南風」を発行することができました。

2 年続けて研修部長をさせていただきましたが、  
至らない点もあったかと思えます。しかし、会員の  
皆様方、先生方に助けていただき、無事に発行でき  
ましたことを、心より感謝いたします。

保護者の皆様におかれましては、来年度より里中  
学校での P T A 活動になります。慣れないことや分  
からないことも多いでしょうが、子供たちとともに  
馴染めるように互いに助け合い、教え合い、協力して  
いきましょう。

ありがとうございました。

( P T A 研修部長 中尾 真由美 )